発行：環境アニメイティッドやお広報委員会

八尾をどっぷり楽しむ環境情報マガジン

かわちの風

No.173
2021.08

P2-3で詳しくご紹介

永く使ってもらえるモノ

町工場の技術を活かしたキャンプギアの自社ブランドができるまで。
話題性だけじゃない、機能性・デザイン性にこだわりぬいたモノだからこそ
永く使ってもらえるモノに。

＼ 永く使ってもらえるモノを ／

CAMP873

柳田製作所では、自社の金属加工などの技術を活かし、自社ブランドでキャンプギアを生産。
コンパクト感・機能性・収納性を追求したキャンプギア。また高安山の間伐材や剪定枝などの生態系サービスを活用するなど、地域資源の循環にもつながっています。

自社ブランドができるまで

金属加工技術を駆使し、特殊車両のパーツ、プラント部材などを製造している柳田製作所。10年ビジョンで、ものづくりの創造メーカーになることを掲げ、BtoBからBtoCの商品を開発することを目指していました。

写真右から　柳田社長・宮本さん

アウトドア好きだった柳田社長と社員の宮本さんは、ある時、屋外のアウトドアイベントに繰り出します。そのイベントの中で、アウトドア商品のキャンプギアを見ていると、

「自社の金属加工の技術を活かし、このイベントで出品されているようなキャンプ製品が作れる」
と気づいたそうです。

「技術をどこに活かすかだけやった。」

技術を活かすことができる製品は多く、何を作るのか、そこに自社の技術による付加価値をつけることで、ブランド価値を高め、製品化することができるということだったのです。

そして、自社の金属加工技術を活かし、製品の開発に着手。柳田社長の父にあたる柳田会長が「ヤナサン」と社員から慕われていたことから、「ＣＡＭＰ８７３（キャンプヤナサン）」という名称で、２０１８年から自社ブランドを展開しました。

創業４０年の技術で作られたモノ。その所有感を味わってほしい。

キャンプブームの今、キャンプギアは多様なメーカーが製品を出しています。ものづくりを続けて４０年間磨かれ続けた技術だからこそ、他のメーカーとは違った質感がＣＡＭＰ８７３にはあります。そのＣＭＡＰ８７３の質感を永く使っていただくことで、所有感を味わってほしいと語る宮本さん。
ＣＡＭＰ８７３のキャンプギアは、デザインを極力シンプルにし、機能性・収納性を追求したモノとなっています。金属加工技術の溶接を行わず、抜き・切削・研磨など１枚の鉄板から作り、あえて工具不要の重量感のあるデザインに。

宮本さん

CAMP873 焚火台danran

簡単に組み立てができ、収納時はフラットになる焚火台。
しっかりと厚みのある鉄板でできており、頑丈で、重量感のあるモノに。
焚火に使ったり、魚を焼いたりとマルチに使えます。

■　問合わせ先（事務局）　TEL：072-924-9359　FAX：072-924-0182　ホームページ：http://www.eco-ani-yao.org/

わくわくと
ドキドキを

2021年7月10日、11日に万博公園で開催されたアウトドアパークにて、お披露目された回転式焚火台。

この回転式焚火台はクリエイターとコラボして、制作されました。焚火台を回転させることで、炎の揺らぎによって投影される影に変化が生まれ、動きのある焚火台に。

この回転式のアイデアは、ギリシャ語で「生命の輪」という意味をもつゾートロープからヒントを得たとのこと。

今までにない動きのあるワクワク、ドキドキする焚火台を眺めながらキャンプ場でゆっくりと時を過ごせそうです。

地域への貢献。

高安の地域で行われている「やまんねきマルシェ」で出展されたこともあり、ＣＡＭＰ８７３の焚火台で高安の地域ででた間伐材や剪定枝を燃料にして焚火を。

高安山の間伐材をアイアンラックの天板に使用するだけでなく、マルシェに出店されている店舗へそのアイアンラックギアを使用してもらうなど、地域への協力を惜しまない姿勢の柳田製作所。

自社周辺地域の清掃活動などの地域貢献によって地域とのかかわりを持つことで、地域があってこそ自社があるという存在意義を見出されています。

株式会社柳田製作所
八尾市太田4丁目44-45
072-948-4381

◀ＣＡＭＰ８７３の製品はこちらから

イベント案内

防災　×　アウトドア

主催：環境アニメイティッドやお

11月 27日(sat) 28日(sun)

会　場	アクトランド八尾
参加費	500円／人
定　員	各日　親子10組（30名）

ファイアスターターの火おこし、空き缶を使ってご飯を炊いたり、そういったアウトドア体験を通じて、防災について学んでみませんか？
詳しくは、「環境アニメイティッドやお」ホームページをご覧ください。

Total Care
かがやき
◆居宅介護、重度訪問介護、移動支援
◆訪問介護　◆就労継続支援B型事業所
株式会社かがやき
〒581-0025　八尾市天王寺屋7-89-1
TEL　072-951-5160　FAX　072-951-6735

環境アニメイティッドやお
会員募集中！

年間会費：個人1,000円、
市民団体2,000円
事業者5,000円
事業者団体10,000円

■問合わせ先
事務局 TEL：072-924-9359

高安山 やまねき便り

＼ 執筆者のご紹介 ／

パタゴニアサーフ大阪
道上知依さん

山口県の上関にて、自然を守る会の海洋調査に７、８年関わられ、カンムリウミスズメの生態を調査されていました。その後、パタゴニアサーフ大阪に務めながら、八尾の高安山にて、NPOと協働で環境活動をされています。

パタゴニアサーフ大阪の方よりやまねきでの環境活動やその他の環境に関する内容についてコラムを書いていただいております。パタゴニアは、登山用品、アウトドア用品、衣料品の製造・販売をされている企業で、1996年にすべてのコットン製品をオーガニックコットン100%されるなど環境に配慮されています。

蝉の大合唱に感謝を込めて

蝉時雨まっ只中の高安山の中腹の畑で草むしりをしていますと、首輪をしたキジトラの猫が様子を見に来てくれまして、ニャーとも泣かずにじっとこちらを観察しているのが笑えます。こうして、チョウやクモなどの小さな昆虫たちが蠢く羽音やなにかのほんのわずかな音までがいとおしく、暑さも忘れ、すぐ昼時です。

「沈黙の春」でレイチェル・カーソンが化学物質（農薬）の危険性を訴えた１９６０年。その１５年後、日本で有吉佐和子が「複合汚染」を表した頃高校生だった私は、雷に打たれたかの衝撃を受けたのでした。あれから約６０年、今もＤＤＴ（ジクロロジフェニルトリクロロエタン）から名を変えただけの農薬はホームセンターでも売られているという現実にクラクラしてしまうのです。それゆえに、鳥の鳴き声や昆虫たちの羽音のにぎやかなこの畑にどれほど助けられているでしょうね。

なにしろ、有機無農薬栽培や自然農法で植物中心の食生活に変換しないことには、気候危機も歯止めをかけられないと、科学者も宣言しているのですから。もう、まっしぐらに突き進むしかないと言っているのです。

折しも、種子法（主要農作物種子法）は一昨年廃止され種苗法の改正も農薬規制の緩和からＧＭＯ（遺伝子組み換え作物）・ゲノム編集食品は流通して、ジワジワと首を絞められているようで息苦しいと感じています。そういったことをＳＮＳで無関心層に投げかけても反応がないというむなしさが沁みるのですよ。

▲畑の中でじっと見つめる猫

株式会社伸明
〒581-0041 八尾市北木の本4丁目72番地
TEL 072-991-3700 FAX 072-922-6953

業界No.1を目指しています。
HKP
皆で描く夢は
志で変わる。
ISO9001・ISO14001取得

株式会社平和化研
〒581-0035 八尾市西弓削1丁目38－1番地
TEL 072-929-9997 FAX 072-929-9919

「漏れを防ぐ」
シール製品の商社

東輝産業株式会社
〒581-0068 八尾市跡部北の町1丁目3－17
TEL 072-990-3270 FAX 072-990-3570

食のグローバル化によりもたらされるもの

ＴＰＰ（環太平洋パートナーシップ）に端を発した食のグローバル化・多国籍アグリビジネスによって、食料自給率がますます下がり、そこに全権大使のような大手多国籍企業の手中で転がされるのでは？！今は、まさに岐路に立つところではないでしょうかね。

最近、日本の食の安全を守る最前線の方々による大切な映画が公開されているとのこと。

「タネは誰のもの」につづくドキュメンタリー・ノンフィクション映画**「食の安全を守る人々」**。

今や日本の食の未来を背負った元農林水産大臣の山田正彦氏がプロデューサーを務めている。

一方、各地では食の安全を懸念したお母さんたちがオーガニック給食に移行されたり、私の若い友人も大学の学食でＶｅｇａｎ給食を提供させるなど、みな各々に努力の賜物としての結果は出ているようだ。世界中の報道されない小さなニュース。しかし地球にとっては一大事なニュースはみなスポンサーに左右されないジャーナリズムからしか届かない現状だが、人間も黙っていては次代に笑われてしまうよね。

カーソン曰く、「世界の子どもに生涯消えることのない“センス・オブ・ワンダー”を授けて欲しい」「知ることは感じることの半分も重要ではない」と。

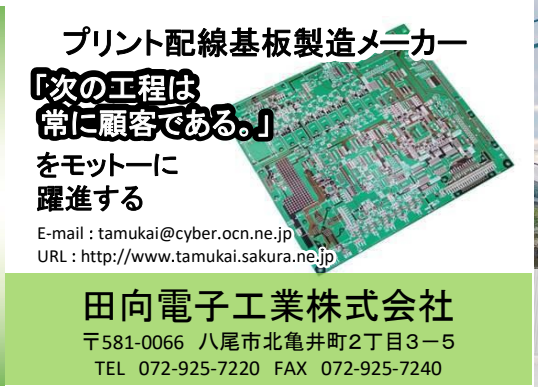
最後にもう一文。
「地球の美しさと神秘さを感じ取れる人は、科学者であろうとなかろうと、人生に飽きて疲れたり孤独にさいなまれたりは決してしないだろう」

パタゴニアサーフ大阪
堂島川左岸に広がる中之島バンクス沿いにあり、穏やかな水辺の空間が広がる都会の一角に位置するサーフストアです。

大阪市北区中之島 5-3-56
中之島バンクス EAST棟

かわちの風はこちらで

近鉄八尾駅・河内山本駅・久宝寺口駅・JR八尾駅・久宝寺駅・志紀駅・八尾市内図書館・大阪市立中央図書館・大阪府立中之島図書館
大阪府立中央図書館・八尾市内各出張所・市立病院・医真会八尾総合病院・コスパ八尾・八尾徳洲会総合病院・
しおんじやま古墳学習館・パシオスポーツクラブ八尾店・プリズムホール・スポーツクラブ＆スパ ルネサンス久宝寺
八尾市立大畑山青少年野外活動センター・かがやき・学習プラザめぐる・ウイング・つどい・みらい・屋内プールしぶき・福祉会館
久宝寺緑地・旧植田家住宅・歴史民俗資料館・観光協会・サポートやお・大阪経済法科大学・まちなみセンター・
教育サポートセンター・近畿労働金庫八尾支店・ＦＭちゃお・アリオ八尾



“にちじょう”に SDGs を。

日常的SDGs from YAO Column

SDGS_FROM_YAO

学習会などのＳＤＧｓの企画があればぜひインスタで教えてください。

日常にあるごみから見たＳＤＧｓ。

　船の上で人間に抱えられたカメが苦しんでいます。乗組員がピンセットを使い、カメの鼻から何かを引っ張り出そうとしています。ギシギシと鈍い音が聞こえるかのように引っ張り出されたのは、カメの血が付着したプラスチックのストローでした。
　そのストローを捨てたのはあなたかもしれません。

　2050年の海は魚よりもごみが多くなるといわれています。年間800万トンという想像できないほどの海洋ごみが発生していて、その8割は街からでたごみです。
　八尾でも私たちが捨てたごみは川を漂い、海に流れ出しています。SDGsの目標には「12 つくる責任つかう責任」があります。つまり消費者である私たちにも責任があるのです。
　私たちに何ができるのか考え、行動に移してみました。

ＳＤＧｓの活動として始まった公園のゴミ拾い。

　さてここで、私達が拾う中で気づいた事をお話しします。実は公園によって落ちているごみの種類が大きく違うことが目に見えてわかりました。例えば、コンビニの近くならお弁当やペットボトルのごみが多く、小学生がよく利用する公園はトレーディングカードが多いですね。そして、ベンチやテーブルが設置されている公園ではお酒の缶やタバコが多かったです。
　ここからわかるのは、どの世代もごみを出してしまっているということです。誰しもしてしまう可能性があるという事は、誰しもが気をつければとても綺麗になるという事でもあります。
　皆できれいな公園をつくっていきましょう！

（日常的SDGs from YAO）

GO. SDGs！

柴谷パッキング工業株式会社　八尾工場
〒581-0042　八尾市南木ノ本9丁目17－1
TEL　072-923-9355　FAX　072-923-9358

グラファイトパッキン
高温油･ガス･高圧蒸気から低温流体まで厳しい条件で使用可能
株式会社デジック
〒581-0053　八尾市竹渕東1丁目209
TEL　06-6790-8585　FAX　06-6790-4611

株式会社共立ヒートテクノ
〒581-0051　八尾市竹渕西4丁目28
TEL　06-6709-6156　FAX　06-6707-1743